

中村欣一郎市長の

山椒は小粒でも……

Vol.59

空き家、いつ誰がどう困るの？



今回のコラムは、私が今、みなさんにおすすめしたい松本明子さんの本を紹介します。

『実家じまい終わらせました！』

私はまだ子どもだった頃、借家住まいだった両親が念願のマイホームを建てました。子どもながらに、父の誇らしげな顔も、母の嬉しそうな顔も覚えています。なにせ、父が人生を懸けて建てた、一生の中で最大の買い物なのですから。

しかーし!!

その父の遺した買い物こそが、私の人生の最大の悩みの種になってしまったのです。

維持費の総額1800万円。なのに、最初の査定額はまさ



かの200万円。物を捨てない世代の父母の遺品が大量に……休みに飛行機で帰つての片づけで身体がもうボロボロ。我が子は私の故郷に縁がない！先祖代々のお墓はどうしたらいいのか……

みなさんも、地元で親御さんが単身で暮らしておられたり、「どうにかしなきゃ」と思いながらついに実家の始末を先延ばしにされていたり、しないでし



私もまったく同じでした。でも、その結果が大後悔と大赤字につながったのです。

今回、この本では、三人の専門家の先生に「空き家になった(なりそつな)実家の後始末」と「家財や遺品の整理」「墓じま



い」について、たくさん教えていただきました。

実家の相続、税金のこと、売却事情、家財整理をする際に重要なこと、改葬の手順や費用、起こりがちな問題etc…

もっと早く知っていたら……

もっと多くの人に伝えなきゃ……私自身、そう強く思つて、このたびの本にさせていただきました。といつても、いきなり込み入った話だと、ちよつと取っつきにくいですよ。そこで、まずは入口として、私の体験談から始めたいと思います。どうか気を楽に盛大に笑ってください。

私の失敗が、みなさんのお役に立てましたら、本望です！

松本明子(2022)『実家じまい 終わらせました！』大赤字を出した私が専門家とたどり着いた家とお墓のしまい方』祥伝社



もともと本が大好きな私ですが、最近一気に読み終えたのがこの本です。この頃うちのまちは空き家だらけや、何とかしてさ市長さん」とみなさんよく口にされます。そりゃそうでしょう、今全国で空き家はなんと800万戸以上、7戸に1戸が空き家という状況です。

今や空き家のジャンルの本は本屋さんにも図書館にもたくさん並んでいます。法的に詳しいものやら、危機感をあおるものまで。

この本の著者は、そう、あの松本明子さん。意外です。伝説のオーディション番組「スター誕生」出身でアイドル路線で歌手デビューしましたが、いつからバラエティやものまね番組によく出演されています。『バラドル』の元祖といわれる世代ですね。

その松本さん、両親の思い出多い家を守るために、実家のある四国の香川県と自身が拠点とする東京とを何度も往復したいささつが書かれています。

出版社はじめ松本さん側の手紙を書いて了解を得て、これはと思うページをそのまま掲載させてもらいました。

大事な大事な実家をそのままにしておくことが、いかに課題解決の糸口をふさいでしまう

か……考えさせられる一冊です。一人でも多くのかたとしたい、図書館に複数冊用意しました。ぜひ一度手に取ってみてください。

また、市では空き家バンク制度や空き家解体補助金を用意しています。くわしくは、建設課まで問い合わせてください。

市立図書館に特設コーナーを設置します！

図書館に私のおすすめ本である『実家じまい終わらせました！』をはじめ、空き家や遺品整理、墓じまいに関する本を集めたコーナーを設置しています。ぜひご覧ください！

期間：10月1日(土)～31日(月)

空き家を有効活用しませんか？

鳥羽市には空き家バンク制度があります。最近では登録数が増えつつあり、それに伴い成約件数(つまり移住者)も伸びています。着任2年目の地域おこし協力隊が頑張つてマッチングに飛び回っています。登録に関する問い合わせは建設課管理係(☎1171)までお願いします。